
心なんてものを、わたくしが持ってよろしいのですか？博士。

楓

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

心なんてものを、わたくしが持つてよろしいのですか？博士。

【Nコード】

N0443BA

【作者名】

楓

【あらすじ】

2100年、まだまだ先の話です。

科学的な技術が進歩する中、地球温暖化などそういう問題も進む一方……。もし、技術がすごく進歩して、地球温暖化の問題がなくなったら・・・という話。

まずはプロローグ、というわけです。（前書き）

えっと・・・。

実験を書いてて、たまには現実から離れるのもいいかと（笑）
ということで、想像しやすく、何とでもできる、未来の話にしました。

まずはプロローグ、というわけです。

2100年、地球はさらに近代化や地球温暖化が進み、人々は困り果てていた。

そんな時、ある一人の人物が生み出したロボットがあらゆる砂漠や荒れ地を、緑の豊かな土地にすることに成功し、人々は喜びと感動に満ち溢れ、彼女に感謝した。

ロボットを作った人物は、「白鳥明日香^{しーじあすか}」そしてそのロボットの名は「美羽^{ミウ}」

彼女は人間型のアンドロイドで、誰もが二度見をしたくなるほどの「超」がつく美人だ。その上、ナイスバディ。

所詮はロボットだと思ふものもあるだろう。

しかし彼女は、人とふれあうことによって育つのだ。どのような性格、外見に変化するかは周りにいる人次第というわけだ。

そんな美羽が、白鳥博士から生み出されたのはいろいろなわけがあったのだ。

まずはプロローグ、というわけです。（後書き）

白鳥という名は、美人のイメージがあつたからと、アメトーク見てて、白鳥という名前が美人の名前だということを知ってます。（アメトーク出てたのは、たんぽぽの白鳥だけど。）

明日香は、まあなんとなく。

美羽は、美しい羽（天使）です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0443ba/>

心なんてものを、わたくしが持ってよろしいのですか？博士。

2011年12月31日22時45分発行